

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別紙様式例3)

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日2021年2月1日

事業所名：

あけぼの園

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

* 同意見で複数回答の場合、まとめています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	33%	25%	42%	換気と3密対策を行っている。利用人数に応じた部屋の確保。	60%	30%	10%	0%	・個別では適当であるが、集団の人数により手狭に感じる(多数) ・建物が古いが、令和3年度に建て替わるのか?	3密対策を踏まえ、園全体の利用計画の中で1日の利用人数を減らした。外部の見学等の制限を行った。放課後デイでは、個別対応を望まれる利用者の方も多いが、児童と放課後デイの重なる時間において部屋の確保が難しい。建て替えに関しては、6月号園だよりでお伝えしたとおり、計画案はあるが、実施時期については未定である。
	2 職員の適切な配置	25%	42%	33%	人手不足のため、休みがとりにくい。必要に応じて応援体制を整えている。	80%	10%	2%	8%	・対応はすばらしいと思います。 ・先生方のお休みがとれているのか? ・利用人数や、特性上配置数は不足していると感じている。	職員配置の基準は満たしている。実際の現場の状況として不足を感じ、増員の予定をしているが、決まらない。休暇については、希望を聞き取り、取得できるようにし、安全に療育体制を整えていく。

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
体制整備	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	0%	42%	58%	トイレの移動や、収納に課題がある。バリアフリー化もできていない。	68%	21%	3%	8%	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の床の安全面について。 ・視覚支援ができていない。子供は慣れて過ごせる。 ・個別対応や、クールダウンスペースができる場所が不足 ・通路や玄関のバリアフリー化ができていない。 ・時代に合わない。古い中で工夫されているが、早く建て替えを願う。 	新施設の移築を待っているが、玄関や通路のバリアフリー化に関しては、現状としての限界を感じる。アイデアを出し合いながら環境構成をおこなっていく。てくてくルームだけでなく、園全体の空き部屋を使いながら、クールダウンや個別対応を行っている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	59%	33%	8%	清掃の時間は以前より増え、除菌等行っている。	82%	11%	2%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化・外観・壁面が気になる。大人の荷物置きがない。 ・清潔に保たれている（多数） ・クーラーの清掃 ・コロナ禍では、密を避けたり、清潔を保つことが困難な利用者が多く、対応するのが、大変ではないかと心配している。 	壁面その他の補修については、できる範囲で行い、子どもの集中が途切れないように工夫する。従来の清掃に加え、日々おもちゃや、室内の消毒も行っているが、さらに清掃については丁寧に行う。給食の際には、指先消毒・机の距離・職員による配膳を行っている。業者清掃が年1回ある。
業務改	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	75%	25%	0%							
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	33%	25%	42%							第3者の外部評価は行っていないが、宇和島市の指定管理事業であり、市と連携しながら、業務を行っている。

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも 言い えない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも 言い えない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
善	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	67%	16%	17%	利用者がいて、参加できないことがあるので、園内研修にきちんと参加したい。外部研修に参加したい。(複数)						コロナの関係により外部研修の場はなくなったが、園内研修の充実を図った。愛大や、病院関係の専門の先生による研修を数回行った。すべての職員に平等に参加できるように配慮していく。

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも 言い えない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも 言い えない	いいえ	おかし い		保護者の方のご意見
適切な支援の提供	1	83%	17%	0%	支援計画の様式を変更し、現状を踏まえた目標設定を行った。	98%	2%	0%	0%	・様式の変更により、とても分かりやすくなった。家庭での課題と集団での課題をうまく取り入れた計画ができています。	放デイの利用児の特性を鑑み、電話連絡を取り合い、可能な限り個別対応を行っている。
	2	100%	0%	0%		100%	0%	0%	0%	・計画もしっかりしており、実際に子供も向上し、丁寧な対応がある。 ・放課後デイサービスの利用の仕方。個別対応や通所できなくなる子に対して、配慮してほしい。	
	3	100%	0%	0%	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成						
適切	4	100%	0%	0%	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	98%	0%	0%	2%	・親切丁寧な対応をして頂いている。	
	5	100%	0%	0%	チーム全体での活動プログラムの立案						
	6	75%	17%	8%	職員間で相談したり、過去のプログラムと比較し、新しい活動も行うよう工夫している。	89%	7%	2%	2%	・パターンにするために固定化する場面もある。 ・月間の予定を見て、楽しみにしていることが多い。季節の行事などにちなんだ活動もとてもありがたい。 ・毎月同じようなプログラムですが、内容を工夫されている。	今年度は、シャボン玉・お口の体操・クッキング・園外活動・お買い物学習などの活動の制限がある中で各ルームの職員が話し合い、できる遊びを考え、実践してきました。例年とは異なる形で「運動会ごっこ・遠足・ミニイベント」等を実施した。

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも 言いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも 言いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
切 な 支 援 の 提 供 (続 き)	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	42%	41%	17%						放課後等デイサービスは、学校の臨時休校に合わせ、長期休暇扱いで開所した。コロナ禍のため、外出はできなかったが、室内の療育内容を工夫した。	
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	83%	17%	0%							
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	42%	58%	0%	毎回ではないが、支援の方法等話し合っている。						週に1回のカンファレンスの時間で話しあっている。緊急例はその都度行う。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	92%	8%	0%	目標に対して日々の様子や、達成状況を記入し、次回の支援の内容について考え、次につなげるようにしている。						
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	83%	17%	0%							
関 係 機 関	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	84%	8%	8%						相談支援事業所に半年に1回のモニタリングの報告を行っている。必要に応じて会議に参加している。	

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも 言い えない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも 言い えない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
この連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	83%	17%	0%							
関係機関との連携 (続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	67%	16%	17%						現在は、該当の方が不在だが、必要な場合は、実施する。	
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	25%	58%	17%	個別支援計画・評価・日々の記録等保護者に確認していただいている。必要な場合は、ケース会議に参加している。 今年度は連絡会を実施しなかったが、各園の先生が個別で相談に来られたり、こちらから様子を伺ったりした。						日々の記録を保護者に確認してもらった。必要に応じて、情報提供を行った。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	42%	41%	17%	相談支援事業所のモニタリングに合わせて、様子を伝えている。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	67%	0%	33%	子ども療育センターや愛媛大学の先生の相談に同席したり、研修を受けたりしている。						内部研修の充実を図っていきたい。

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

区分	チェック項目	事業所の現状評価			工夫した点、改善点	保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも 言い えない	いいえ		はい	どちらとも 言い えない	いいえ	おからかい		保護者の方のご意見
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	17%	58%	25%	今年度は依頼がなかった。					・コロナのため仕方ない（多数） ・来年はもう少し行事などが増えるといい。 ・学齢児は学校で障害のない子どもとの活動の機会を設けられる場合が多いので、放課後等デイサービスでの必要性はあまり感じられない。	利用者以外との交流は控えている。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	17%	50%	33%	3密対策が万全でないため、運動会や、前年度卒園式等取りやめた。						
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	100%	0%	0%		97%	3%	0%	0%	書面で頂けるのでありがたいです	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	100%	0%	0%		98%	0%	0%	2%		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	50%	25%	25%	いくじ学級（9月）個別療育相談（8月）から再開した。クラス懇談もおこない、日ごろの悩みや出来事を話しあう機会を持った。同席者や参加者を制限し、できる範囲での支援を行った	59%	16%	6%	19%	・助かっています。ありがとうございます。 ・子供に対する声のかけ方を学ぶ機会がほしい。 ・いくじ学級やクラス懇談・個別懇談などの機会が設けられているが、支援としてはまだまだ不足している ・講座は行われていますが、保護者にとっては受け身かなと感じる。	コロナ禍のため予定が決まらず、告知が遅くなった。そのため、いくじ学級・クラス懇談等に参加者が少なかった。子育ての方法を学ぶ機会でもあり、早めに参加の促しをする。内容等については、発達課題に合わせた講義等を勧めているが、実際の参加は少ないのが現状。保護者からのご意見を参考にさせてもらいたい。職員の声掛けがモデルとなるよう、より一層気を付けていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	92%	8%	0%		95%	5%	0%	0%	・通所日のその日の様子を口頭で伝えてもらい、翌週の記録で課題や成長したことなどを、確認でき、文章を作っていただきよかった。 ・保護者がリアルタイムで抱える悩みへの対応、相談しやすい環境をお願いしたい。	

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	92%	8%	0%	難しい内容等の場合は、他の職員の意見を聞いたり、対応をしたりしてもらったりしている。	79%	17%	2%	2%	・その都度アドバイスを頂いており、有り難い。・もう少し相談する機会や助言が欲しいです。	定期的な面談や、様子の確認等の時間を確保していきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	58%	34%	8%	保護者会「たけのこ会」の活動がなくなったり、大勢が集まる療育を削減したため、交流を深める機会が減った。	63%	14%	8%	15%	・コロナで仕方ない（多数）・相談に乗ったり話を聞いてもらったりできるので、保護者同士で話せる場所があるのは良い。 ・いくじ学級はとても参考になるが、参加できないことも多い。	できる形での連携の持ち方を検討する。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	100%	0%	0%		64%	5%	0%	31%	・園日より毎月報告がある。 ・苦情が思いあたらないので、苦情でなくても、意見を言いやすくしてほしい。	ご意見箱の周知を図る。個別懇談等で要望やご意見を頂いた際には、職員で検討し、個別に保護者に返答している。必要な場合は、全体に周知していく。日頃から話しやすい雰囲気作りに努める。
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	92%	8%	0%		88%	7%	0%	5%	・支援の前後はあまり時間がないので、あまり先生と話せない。定期的に短時間の面談があれば話しやすい。 ・翌週、活動の記録を確認できることでわかりやすくなった。うまくいかなかったことこそ、対応等記録してほしい。 ・毎回、先生方がよくお声かけくださるので、ありがたい。	活動記録の確認をお願いし、様子を伝えている。記載内容に関しては、検討していく。

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも 言いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも 言いえない	いいえ	おかし		保護者の方のご意見
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	100%	0%	0%		90%	3%	0%	7%	・いつも園だよりを楽しみにしている。 ・毎月詳しく行事予定など知らせて頂いている。 ・放課後等デイサービスと児童発達それぞれのお便りがあるといい。	3事業に合わせた内容を掲載していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	100%	0%	0%		85%	3%	0%	12%	・施設の構造上、保護者や子どもが職員のデスク付近を頻繁に通るので危険な要素はあると思う。	
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	67%	33%	0%		74%	10%	2%	14%	・マニュアルを確認する機会がまだない。コロナが広がっている中、感染症対策について検討、周知の必要性を感じる。	4月に警報発令時のお知らせを配布したり、緊急時のマニュアルを職員室横に掲示している。感染症対策については、実践していることを園だより等で発信する。AEDを設置し、全職員で講習を受けた。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	100%	0%	0%		78%	5%	0%	17%	園だよりの訓練の様子から定期的に行われていることが分かり、よかった。 体力的に遠くまでの避難が難しい利用者の避難について具体的に教えてもらいたい。	重症心身障がい者の方の利用があるため、どの訓練においても、避難方法を考えている。予備のバギー・おんぶひも・担架等用意している。今後、お知らせしていきたい。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	100%	0%	0%							
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	50%	42%	8%	拘束を行うケースがない。						

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも 言いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも 言いえない	いいえ	おからかい		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	67%	33%	0%	保護者からの聞き取りがメイン						母子通園の場合は、保護者の確認のもと、給食を食べている。分離でお預かりしている利用児に関しては、口頭での確認にとどまっている。必要な場合は、指示書を用意してもらおう予定。毎朝の出欠確認の際、アレルギーの有無も合わせて確認している。アレルギー検査をした際には提出をお願いしている。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	83%	17%	0%							ヒヤリハットを作成し、回覧し、朝礼等で危険性を共有し事故を未然に防ぐよう徹底する。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか					86%	14%	0%	0%	・いつも楽しみ。（多数） ・人数や友達によって相手によってストレスに感じることがある。	多くの活動に制限があるなか、楽しく通っていただきありがとうございます。児童発達では、児の特性や、環境・発達段階をふまえ、個別療育の内容や回数を検討し増加する例もある。放課後デイにおきましては、十分ではないものの、個別のケースに対応し、利用日や利用時間の変更に応じている。また特性を加味しながら集団のメンバーを決め、実施した際にも様子を見ながら随時曜日の変更等を行っている。
	2 事業所の支援に満足しているか					91%	9%	0%	0%	・先生方の指導は丁寧で満足(多数) ・幼いころから特性を理解している先生に支援していただいたり、助言を頂いたりすることはとてもよい。 ・支援の時間、内容は限られている(少ない)ように思う。 施設の、人数的に難しい問題ではありますが、もう少し特性や、個々に対応できる環境であればよい。	